

奈良博公式キャラクター  
ざんまいずが石川に!!

# ざんまいず

ZANMAIS

奈良博の作品をモデルにした  
キャラクター5匹も登場!  
モチーフになった作品を全て展示します。

左から 銅孔雀文壺 南北朝時代 正平12年(1357)、  
重要文化財 普賢菩薩像 平安時代(12世紀) [前期]、  
獅子 鎌倉時代(13世紀) [後期]、  
埴輪犬(近畿城東海村外宿出土) 古墳時代(6世紀)、  
大威徳明王騎牛像 平安時代(12世紀)  
(すべて部分)



## 観覧料金・チケットのご案内

### 観覧料金(税込)

	一般	大学生	高校生	小中学生
当日	1,500円	1,000円	800円	500円
団体	1,300円	800円	600円	300円
前売	1,400円	900円	700円	400円

※2階コレクション展観覧料を含む ※団体は20名以上から  
※身体障がい者・精神障がい者保健福祉・療育手帳をお持ちの方、またはマイリロIDをご提示の方および付き添いの方1名は観覧無料

### 販売場所

石川県立美術館、北國新聞読者サービスセンター、石川県立音楽堂チケットボックス、金沢駅観光案内所、金沢中央観光案内所、香林坊大和プレイガイド、チケットぴあ(Pコード686-955)、ローソンチケット(Lコード53434)など

※チケット購入時に手数料がかかる場合もあります  
※ご購入後の払い戻しはできません



オンラインチケット

音声ガイド(有料)、子ども向けワークシート(無料、枚数限定)を準備しています。当日展覧会受付にてお申しつけください。

本展の出品作品は一部を除いて写真撮影いただけます。

## イベント

※詳細は決まり次第石川県立美術館ウェブサイト等でお知らせします

### 井上館長(奈良国立博物館)×青柳館長(石川県立美術館) 記念対談

日時: 7月6日(土) 13:30~15:00(13:00開場)  
会場: 石川県立美術館ホール  
定員: 200名(入場無料、申込不要、先着順)

### 記念講演会「奈良国立博物館の仏教美術—彫刻を中心に—」

日時: 7月20日(土) 13:30~15:00(13:00開場)  
講師: 奥 健夫氏(武蔵野美術大学教授)  
会場: 石川県立美術館ホール  
定員: 200名(入場無料、申込不要、先着順)

### ワークショップ「仏像ハカセのほっとけさまファッション講座」

日時: 7月27日(土)・28日(日) ①13:30~ ②15:00~ 各回45分  
講師: 岩井共二氏(奈良国立博物館美術室長)  
会場: 石川県立美術館講義室  
定員: 各回15名(参加無料、要申込)

### ワークショップ「絵巻物(群邪絵)をみて!きて!さわろう!!」

日時: 8月3日(土) 13:30~16:00の間で随時 所用時間約30分  
講師: 奈良国立博物館研究員  
会場: 石川県立美術館講義室  
参加無料、申込不要

### 親子向けわくわくトーク「『ほっとけ』んよ!奈良博のお宝!」

日時: 7月14日(日)・8月4日(日)・18日(日) ①13:30~ ②15:00~ 各回45分  
講師: 奈良国立博物館教育室研究員、石川県立美術館学芸員  
会場: 石川県立美術館ホール  
定員: 200名(入場無料、申込不要、先着順)

### 「私が好きなほっとけさま投票」—わたしの“推し仏”—

200点超の仏像、仏画等のなかから、あなたの“推し仏”を選んでみませんか。参加者には抽選で豪華景品をプレゼントします。

### 笑い飯の楽しい仏教美術トークショー 講師: 笑い飯 ※哲夫氏は奈良博名誉サポーター

第1弾 日時: 7月15日(月・祝) 14:30~15:10  
会場: 石川県立図書館だんだん広場  
定員: 140名(入場無料、要申込)  
問い合わせ: 石川県立図書館 TEL.076-223-9565

第2弾 日時: 8月11日(日) 13:30~15:00  
会場: 石川県立美術館ホール  
定員: 200名程度(入場無料※要展覧会チケット提示、要申込)  
問い合わせ: 兼六園周辺文化の森等活性化推進実行委員会(県文化振興課内) TEL.076-225-1371

※「第1弾」「第2弾」の申込受付は6月頃開始予定

この他の関連イベントについても検討中です。お楽しみに!

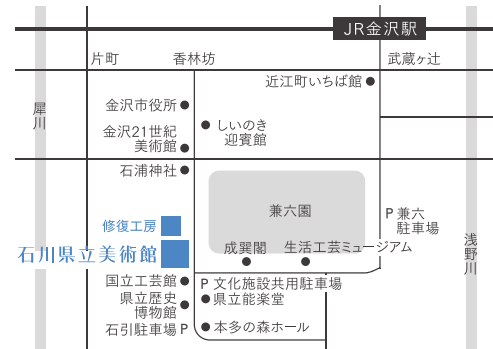
## 石川県立美術館

〒920-0963 石川県金沢市出羽町2-1  
TEL.076-231-7580

ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF ART <https://www.ishibi.pref.ishikawa.jp/>

### アクセス

- バス JR金沢駅バスターミナル兼六園口(東口)から、路線バスで「出羽町」または「広坂・21世紀美術館」下車、徒歩5~7分。
- タクシー JR金沢駅から4km、平常時で10~15分。
- 自家用車 北陸自動車道「金沢西」もしくは「金沢森本」インターから20~30分。来館者専用の駐車場(無料)あり。



# 特別展 ならこくりつはくぶつかん まるごと奈良博

—奈良国立博物館 至高の仏教美術コレクション—  
ALL THINGS NARA EXHIBITION  
The Extraordinary Buddhist Art Collection of the Nara National Museum

2024. 7.6(土) ▶ 8.25(日) 石川県立美術館  
ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

前期【7月6日(土)~7月28日(日)】 後期【7月31日(水)~8月25日(日)】

開館時間: 午前9時30分~午後6時 ※入館は閉館30分前まで 休館日: 7月29日(月)・30日(火)  
主催: 「まるごと奈良博」展実行委員会(石川県、石川県立美術館、北國新聞社) 特別協力: 奈良国立博物館 特別協賛: DMG森精機  
後援: 一般財団法人石川県芸術文化協会、石川県教育委員会、富山県教育委員会、福井県教育委員会、金沢市教育委員会、NHK金沢放送局、MRO北陸放送、テレビ金沢、HAB北陸朝日放送、石川テレビ放送、金沢ケーブル、エフエム石川、ラジオかなざわ・こまつ・ななお

※上から時計回り  
《出山新迦如来立像》南北朝時代(14世紀)、重要文化財《四大天王五結輪》中国・唐(8世紀) [前期展示]、重要文化財《曼荼羅王坐像》鎌倉時代(13世紀)、国宝《薬師如来坐像》平安時代(9世紀)、《南無仏太子立像》鎌倉時代(13~14世紀)、国宝《群邪絵》のうち「天刑屋」平安~鎌倉時代(12世紀) [後期展示]、《伽藍神立像》鎌倉時代(13世紀)、《三結輪》平安時代(12世紀) (すべて部分)



令和6年度地域域の文化資産を活用した展覧会事業



これだけのものが館外で一度に公開されるのは初!!

奈良国立博物館が所蔵する国宝8件、重要文化財93件が石川に。

# 「ほとけさま」の世界をわかりやすく説明。 この展覧会「ほっとけ」ない!

あなたの「押し仏」を見つけに石川県立美術館へ!

奈良国立博物館は明治28年(1895)に開館し、特に古都奈良の社寺に伝わった仏教美術の保管や展示につとめ、「奈良博」の愛称で広く親しまれてきました。

令和3年(2021)に開催した「奈良博三昧-至高の仏教美術コレクション-」は、選りすぐりの館藏品により日本仏教美術の歴史1400年を辿り、その仏教美術コレクションの魅力余すところなく伝える展覧会でした。ともすると敷居が高く、難しい印象の仏教美術を、平易で分かりやすい解説や、

親しみやすい展示など、見る人の視線を大事にした企画で多くの来場者を魅了したのです。

本展は、その「奈良博三昧」展のエッセンスを踏襲しながら、北陸・石川が持つ、仏教への信仰が篤い文化風土を背景に、国宝8件、重要文化財93件を含む200件超の奈良国立博物館の至高の仏教美術コレクションをご覧いただき「まるとこと」奈良博を紹介するものです。

国宝 薬師如来坐像  
平安時代(9世紀)



がらんしんりゅうぞう  
伽藍神立像  
鎌倉時代(13世紀)



天刑星

へきじゅえ  
辟邪絵のうち  
「天刑星」「鍾馗」  
平安~鎌倉時代(12世紀)・後期  
(後期展示: 7/31-8/25)

第1章  
ブツダの造形

しゅっせんしゅ かにはらいりゅうぞう  
出山釈迦如来立像  
南北朝時代(14世紀)



苦行で瘦せこけた姿、悟りへの道を歩む釈迦。

第2章  
飛鳥・白鳳・天平の古代寺院

がとう  
瓦塔(静岡県浜松市出土)  
奈良~平安時代(8~9世紀)

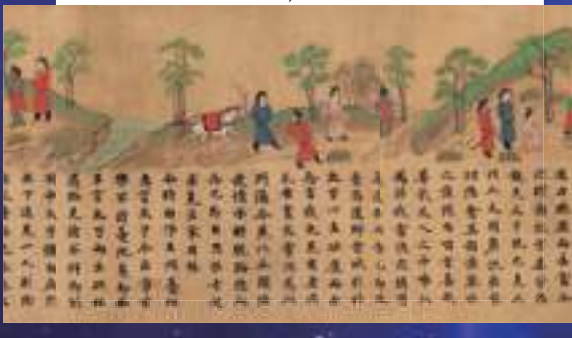


仏教文化の浸透とともに流行したミニチュアの五重塔

第3章  
写経に込められた祈り

えいんがきょう  
重要文化財 絵因果経(部分)  
奈良時代(8世紀)

経典と絵で、釈迦の生涯をわかりやすく伝える。  
(前期展示: 7/6-7/28)



第4章  
密教の聖教とみほとけ

重要文化財  
如意輪観音菩薩坐像  
平安時代(9~10世紀)



如意宝珠と輪宝で衆生を救う。エキゾチックなまなざし。

第5章  
仏教儀礼の荘厳

ごひげまん  
国宝 牛皮華鬘  
平安時代(11世紀)・前・後期で入れ替え

寺院を華やかに彩る極楽浄土の鳥たち。



第6章  
地獄極楽と浄土教の美術

あみだしょうらいごす  
阿弥陀聖衆来迎図  
鎌倉時代(13~14世紀)



阿弥陀一行、極楽からお迎えに。  
(後期展示: 7/31-8/25)

第7章  
神と仏が織りなす美

かすがしかまんだら  
重要文化財 春日鹿曼荼羅(部分)  
鎌倉時代(13~14世紀)



奈良の鹿は、かわいいただけじゃない。神の使いとして降り立った幻想的な姿。  
(後期展示: 7/31-8/25)

第8章  
高僧のすがた

しんらんしょうにんぞう  
重要文化財 親鸞聖人像  
鎌倉~南北朝時代(14世紀)



親鸞聖人三御影のひとつ、「熊皮御影」が登場。  
(前期展示: 7/6-7/28)

第9章  
南都ゆかりの仏教美術

じゅういちめんくわんおんぞう  
国宝 十一面観音像(部分)  
平安時代(12世紀)



豊かな彩色、善美を尽くした平安仏画の最高峰。  
(前期展示: 7/6-7/28)

第10章  
北陸ゆかりの至宝

こんごうどうしりゅうぞう  
金剛童子立像  
鎌倉時代(13世紀)



白山信仰の拠点、岐阜・長滝寺に伝わったという金剛童子。